

事務局だより

INFORMATION

8月

- 31日～9月2日 健康診断
55社 646名 受診

9月

- 5日
1.総務委員会より
(1) 運転資金特別融資について
(2) 景況調査結果報告
(3) 集団健康診断の実施結果報告について
(4) 直江町土地区画整理事業用地に伴う問屋町3丁目の駐車場用地一部提供並びに土地区画整理事業への参画について
(5) 店舗のリニューアル資金について
(6) 流通会館の管理人について
(7) コピー機の買い替えについて
2.厚生委員会より
(1) 第1回キマッシ・カップ オープンゴルフ結果報告
3.組合運営委員会より
環境整備の実施について
4.事業戦略委員会より
中小企業人材確保推進事業…テレビCMの件
5.青年部会会長より
8月21日(日)の「キマッシカナザワ!!なつまつり」結果報告
6.開発プロジェクトチームより
8月7日(日)のフリーマーケット「キマッシカナザワ!!」にっこにこジャンボリー」結果報告
7.事務局より
(1) 「金沢商人塾」の第2回例会について
(2) 問屋神社秋季例祭について

10月

- 4日
1.総務委員会より
(1) 組合員の脱退に伴う出資金の移動について
(2) 理事の定数について
(3) コピーサービスについて
(4) 北國銀行への組合所有土地売却について
2.厚生委員会より
(1) 第24回商社対抗ボウリング大会結果報告
(2) 中堅幹部社員研修会について
3.組合運営委員会より
(1) 町内一斉清掃について
(2) 不燃物有料回収について
4.事業戦略委員会より
(1) 中小企業人材確保推進事業…テレビCMの件
(2) 北鉄バス内での交通事故防止キャンペーンについて
5.事務局より
(1) 「金沢商人塾」第2回結果報告と、第3回例会について
(2) 歩道の再整備について
●12日
町内一斉清掃
●13日
新入社員フォローアップ研修(第2回目)



- 25日
中堅幹部社員研修会
「2007年問題で、つかむビジネスチャンス」
(株)北陸経営 経営支援部 山本 憲司氏
●26日
不燃物有料回収

11月

- 4日
1.総務委員会より
(1) 組合会館の管理を、北陸極東警備保障(株)と契約
(2) 組合の平成17年度中間決算報告
2.厚生委員会より
(1) 中堅幹部社員研修会について
(2) 経営者研修会について
(3) 雇用管理改善マニュアルの作成配布について
(4) 労務管理セミナーについて
3.組合運営委員会より
(1) 環境整備の実施について
(2) 金沢流通会館3階役員会議室の貸出について
(3) 高速道路共同利用事業の契約単位割引について
4.事業戦略委員会より
組合活動戦略化モデル事業について
5.青年部会
視察研修について
6.事務局より
(1) 「金沢商人塾」第3回結果報告と、第4回例会について
(2) 塚田事務局次長の退職について

編集後記

「銀杏並木に朝風吹いて…」と毎朝始業に聞きなれた街路樹の紅葉も終わり、まさに晩秋であります。世の中はまだ模様様の景気で今年もいよいよ師走を迎えるこの頃です。
今年の総選挙では未曾有の自民党大圧勝、その後は何でも有りの様相、我々庶民には益々住み難い世の中になるなあと感じられます。もし政治に期待ができないならば、「弱い小さな者達同士が集まってがんばろう」とした「協同組合」の有り様にも見直す時が来たのかなと思います。
自分自身が強くならねばならない。
(Y. H)

金沢市産業功労賞を
組合員三氏が受賞

KIMASSI

Vol.94
December

KANAZAWA

DECEMBER 2005 KANAZAWA TOIYA CENTER QUARTERLY NEWS 金沢問屋センターニュース
URL <http://www.kimassi.or.jp/>

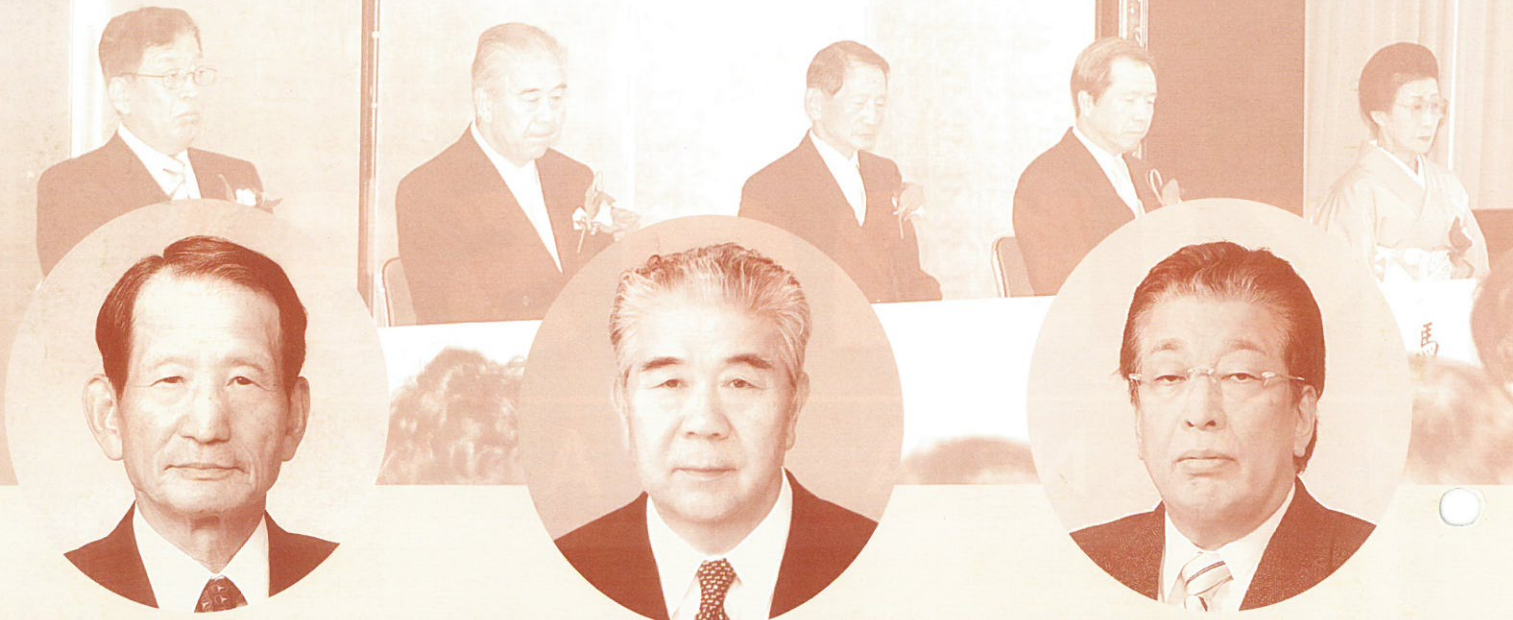
金沢市産業功労賞を組合員三氏が受賞
組合員のコストダウン支援の研究のため視察
テレビCM放映中
「IT経営応援隊」加賀塾開講
第31回商社対抗ソフトボール大会
元気な組合員企業紹介



金沢市産業功労賞を組合員三氏が受賞

平成17年度金沢市文化賞 産業功労賞 贈呈式

平成17年度金沢市の産業分野で活躍、貢献した人たちに贈られる金沢市産業功労賞を当組合員三氏が受賞、贈呈式は11月3日市文化ホールで行われ、山出市長よりその功績をたたえる賞状が贈られた。



富木医療器(株) 代表取締役会長 富木 昭光氏

富木氏は永年にわたり医療機器、理化学機器、計量器等の卸売販売業と医療関係設備の施行にたずさわるとともに、同業界の要職を歴任し業界発展に貢献。さらに、我が国最初の卸売商業団地となる当組合設立に係り、理事、副理事長、現理事長として地方卸売業の育成、発展に尽力。

カナカン(株) 代表取締役会長 角間 俊夫氏

角間氏は永年にわたり食品卸売業にたずさわって、全国規模の総合食品卸売事業を展開。安全で充実した食生活の基盤となる流通推進に寄与するとともに、食生活の豊かさを求めて地域社会に奉仕するという企業理念を追求。また、同業界の要職を歴任し、食品業界の育成発展に尽力。

(株)ヤギコーポレーション 代表取締役会長 八木 孝男氏

八木氏は永年にわたりユニフォームアパレルを中心とした衣料品製造販売業にたずさわって、その持ち前の独創的な発想と高い技術力をもって事業を拡大、一躍ニッチトップ企業として業界での地位を確立。その一方で地球環境に配慮した企業活動も展開。また業界の要職も歴任し、その振興と地域社会の発展に尽力。



紙類の分別回収実態調査

組合員のコストダウン支援の研究のため視察

去る11月11日(金)、組合改革委員会による視察調査が実施された。

当組合は、今年度、中小企業物流連携支援事業のテーマとして「組合員のコストダウン支援の研究」を掲げ、具体的には、①エネルギーコスト削減の研究と②団地内企業の産業廃棄物の分別回収を促進することで、特に紙類のリサイクル化を推進し、廃棄量の抑制、廃棄費用の削減を考えており、今回は紙類の分別回収実態調査のために、組合改革委員会から9名が参加した。

小松空港に集合した一行は、羽田空港か

ら最初の視察先である新橋の「オフィス・町内会」を訪問、事務局長より紙類の分別回収の仕組み、仕分け方法の説明などを受けた。

次に一行は横浜へ移動して、すでに産業廃棄物の分別回収を実施している「(協)横浜総合卸センター」を訪問、副理事長と事務局長から説明を受けた。

同組合は、横浜市が環境問題のために従来無料で行っていた紙類の回収を平成8年に廃止したことをきっかけに分別回収を始め、導入時の苦勞、分別回収の仕組

みなどについて資料に基づき詳細な説明を受け、そのあと予定時間を越えて、今後の組合共同事業のあり方など活発な意見交換が行われた。

今回の視察は、1日に2ヶ所をまわり、しかも東京・横浜の人ごみの中の移動であったため、予定のバスに乗り遅れたり、途中ではくれる者が出るなど少しあわただしさもあったが、大変参考となる視察であった。

テレビCM 放映中

一昨年度から実施している中小企業人材確保推進事業の一環として、全体のイメージアップのためのテレビCMを現在放映中である。これは組合員企業にお勤めの若手社員の方に出演していただき制作したもので、北陸放送で10月5日から12月8日までの間に65本放映されることになった。またこの他に、JR金沢駅構内と金沢駅東地下街、香林坊地下道にはポスターも掲示しているので、機会があればぜひご覧いただきたい。





第31回 商社対抗ソフトボール大会

第31回商社対抗ソフトボール大会は9月19日(月)、9社10チームが参加し、金沢市営ソフトボール場で行われた。決勝戦では(株)丸菱Bが北村電機産業(株)を13対5でくだし、2年連続7回目の優勝を果たした。



優勝 (株)丸菱B



優勝 (株)丸菱B

準優勝 北村電機産業(株)

第3位 (株)キョー・エイ

// (株)丸菱A

最優秀選手賞

亀井 誠 (株)丸菱B

打撃賞

木田 文彦 (株)丸菱B

敢闘賞

宮崎 和哉 北村電機産業(株)



準優勝 北村電機産業(株)



元気な 組合員企業紹介

ジャパンプレミアム株式会社 社長 池端 達



思ったりしております。もし、答えをお知りの方がありましたらお教え下さい。

創業の頃はスーパーマーケットや商店街などの販売促進のためのシステムを売ることが生業でしたが、そのうち金融機関や保険会社向けに景品用の雑貨を扱うようになりました。当時は数名の営業社員を抱えて北陸三県内で商売をさせていただいておりましたが、時の流れとともに営業内容が変化していき現在に至っております。

現在は、100円ショップ向けの商品の企画開発と海外での調達や国内雑貨メーカー様の商品の販売代理等で売上90%を占めるようになり、ミニ商社化してしまいました。営業社員を自社では雇わず、管理部門の社員だけで営業しております。そのため100円ショップ等への直接販売はしていません。

販売部門の社員はおりませんが、私が40歳までサラリーマンをしていました頃の部下や友人達、そして創業した頃に出会ったメーカーの社員達や、業界で働く方々

の中から多くの協力が現れ、その人達やその関連によって、当社の営業が成り立っております。従って商品の供給先は北海道から鹿児島、沖縄に至り、遠くは海外にまで及び広範囲になってしまいました。

自分では全く売上を大きくしたいとか、商圏を広範囲に取ろうかと思ったことは一度もなく、努力をしたこともありませんでしたが、気が付いたら広がってしまいました。振り返ってみると、己の心の赴くままに自然体で人に接してきたことが幸運にも多くの共鳴者を得ることとなり、結果として、今日に至っているのだと思います。

最近になって、かねてから温めておりました新業態を立ち上げ、現在、長崎市と熊本市でそれぞれ一店舗ずつ実験を始めておりますが、私も今年で古希を迎えましたのでいつまでも老醜を晒す訳にもいかず、この1、2年の間に新業態に目鼻をつけて、後進に道を譲りたいと思っております。

経営者のためのIT活用による経営戦略立案塾



「IT経営応援隊」加賀塾開講



立ち上げ、地域の活性化・産業競争力の強化を図ることを狙いとしている。今期石川県では、「加賀塾」と「能登塾」をそれぞれ定員20名で開講したが、「加賀塾」は、当組合員より15社23名の入塾希望があり、塾生は全員当組合の組合員で占めることとなった。

講義は、10月15日(土)、22日(土)、11月5日(土)の

3日間、9:00~17:00まで当組合流通会館研修室で4名のITコーディネーターの講師のもとで開催。

「IT経営応援隊」とは、経済産業省が、中小企業の経営改革におけるIT活用を促進する目的で、2004年6月から事業を

講義内容は、仮想事例をもとに経営課題の抽出・分析・強みの発見・ビジネスチャンスの発見・課題立案による経営戦略企画から情報化企画書の作成まで、グループ討議の上発表を繰り返し、最後には自社の企画書の策定を宿題に出され発表させられるなど、大変ハードなものであったが、各社の経営改革を検討する良い機会となった。

なお、講義終了後に希望者には、無料で専門家が企業を訪問して個別企業の成熟診断を行い、経営課題と解決指針を明確にするフォローがあり、大半の受講者が希望をした。